

---

# 二次元短編小説:NARUTO 「日向のヒトコマ」

めーみ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

二次元短編小説：NARUTO 「日向のヒトコマ」

### 【Nコード】

N54760

### 【作者名】

めーみ

### 【あらすじ】

中忍試験が終わった頃。

日向の和解ですね。

**（前書き）**

自己満です。

つまらないですよ）（

```
- - m i m e m k 0 0 | 0 |  
C o n t e n t - T y p e : m u l t i p a r t / r e l a t e  
d ; b o u n d a r y " m i m e m k 0 0 "  
  
- - m i m e m k 0 0  
C o n t e n t - T y p e : m u l t i p a r t / a l t e r n  
a t i v e ; b o u n d a r y " m i m e m k 0 1 "  
  
- - m i m e m k 0 1  
C o n t e n t - T y p e : t e x t / p l a i n ; c h a r  
s e t " i s o - 2 0 2 2 - j p "  
C o n t e n t - T r a n s f e r - E n c o d i n g : 7 b i t
```

此処は火の国”木の葉の里”。

人里離れた場所にある一族がいる。

その一族の名は”日向”。

これから”日向”のあるヒトコマを見てみよう。

ヒナタ（以後：ヒ）「んー」

ヒナタは軽く背伸びをし、朝の食事の準備をする。

ハナビ（以後：ハ）「姉上。おはようございます」

後ろからヒナタの5ツ下の妹：ハナビが眠気眼を擦りながら、挨拶をする。

ヒ「おはよう。ハナビ」

優しい眼差しでヒナタはハナビに挨拶をし、ご飯 お汁 漬物 焼き魚を作っていく。

（勿論、分身の術を使い手際良く）

ハ「父上は？」

ハナビは首を傾げる。

いつもなら新聞を読みながら、お茶を啜る父：ヒアシ（以後：ヒナ父）の姿があった。

ヒ「父上なら、朝一でネジ兄さん（以後：ネ）の所に行きましたよ」

ネジはヒナタとハナビの従兄でたまに修業を付き合ってくれる。

ハ「ネジ兄のところ？じゃあ朝一の修業かなあ？」

ヒ「そうかもしれない」

食卓に作った料理を並べ、分身を解く。

ハ「4ツあるよ？ネジ兄も来るの？」

ハナビはヒナタを見るすると、”白眼”発動中のヒナタがいた。

ヒ「そろそろ着きます」

そう言い、白眼を解き、4ツお茶を入れる。

玄関に行くところとちょうど戸が開いた。

ヒナ父「今帰ったぞ」

ネ「邪魔いたします」

ハ「おかえりなさい。父上。ネジ兄、いらつしやい」

ヒ「お帰りなさい、父上。ネジ兄さん、いらつしやいませ。食事の準備整いましたので、どうぞ」

ヒアシとネジは二人を見、軽く笑う。

ハ「ん？」

ハナビは二人の様子に首を傾げる。

当たり前だ。今まで、宗家であるヒアシ、ヒナタ、ハナビと分家であるネジの間には亀裂があったからである。

中忍試験でネジがナルトと戦って以来、和解したのだ。

ヒ「？ハナビどうしたの？ご飯だよ？」

ハナビはブーツとして玄関で立ち尽くしていた。

ハ（あの時からネジ兄、怖い顔しなくなったよなあ）

ハナビはニコニコしながら台所に行く。

```

- - m i m e m k 0 1
C o n t e n t - T y p e :   t e x t / h t m l ;   c h a r s
e t " i s o - 2 0 2 2 - j p "
C o n t e n t - T r a n s f e r - E n c o d i n g :   q u o
t e d - p r i n t a b l e

" 1 B $ B : ! " 3 D h $ O 2 P $ N 9 q " 1 B ) B & a m p ; q
u o t ; " 1 B $ B L Z $ N M U "
$ N N $ " 1 B ) B & a m p ; q u o t ; " 1 B $ B ! # " 1 B )
B " 1 B $ B ? M N $ N % $ l $ ? < l " 3 D j $ K $ " $ k 0 l
B 2 $ , $ $ $ k "
! # " 1 B ) B & a m p ; n b s p ; " 1 B $ B $ " 3 D $ N 0 l
B 2 $ N L < $ O " 1 B ) B & a m p ; q u o t ; " 1 B $ B B | F
8 "
" 1 B ) B & a m p ; q u o t ; " 1 B $ B ! # " 1 B ) B & a
m p ; n b s p ; " 1 B $ B $ 3 $ l $ + $ i " 1 B ) B & a m p ;
q u o t "
; " 1 B $ B F | 8 " 1 B ) B & a m p ; q u o t ; " 1 B $ B
$ N $ " $ k % R % H % 3 % ^ $ r 8 + $ F $ | $ h $ & a m p ;
! # " 1 B ) B & a m p ; n b s p "
; & a m p ; n b s p ; & a m p ; n b s p ; & a m p ; n b s p ;
" 1 B $ B % R % J % ? " 1 B ) B "
" 1 B $ B 0 J 8 e " 1 B ) B : " 1 B $ B % R " 1 B ) B " 1
B $ B ! V $ s ! e ! # $ * $ O $ "
h $ & a m p ; ; $ 4 $ 6 $ $ $ ^ $ 9 ! W " 1 B ) B & a m p ; n
b s p ; " 1 B $ B 8 e $ m $ + $ i % R % J % ? $ N " 1 B ) B
5 "
" 1 B $ B % D 2

```

（後書き）

読んでいただきありがとうございました。



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5476o/>

---

二次元短編小説:NARUTO「日向のヒトコマ」

2010年11月13日20時10分発行